

パブリックコメント実施結果報告書

平成27年11月2日

| | |
|-----|--------------|
| 担当課 | とっとり元気戦略課 |
| 担当者 | 澤米 渉 |
| 連絡先 | 0857-26-7250 |

テーマ： 鳥取県人口ビジョン、地方創生総合戦略の素案について

①手段別意見応募件数

| 郵便 | ファックス | 電子メール | 県民室・ 県民局等へ | その他の 方法 | 計 |
|------|-------|--------|---------------|------------|--------|
| 3(2) | 2(1) | 34(18) | 29(2) | - | 68(23) |

②応募意見の政策案等への反映状況

| 対応状況 | 件数 | 主 な 意 見 |
|-----------------------------|----|---|
| 反映した(一部のみ 反映したものを含 む) | 13 | 鳥取県の魅力をストレートに伝えるキャッチフレーズによるアピール、子育て王国のPR強化、生活コスト安のPR、「全員参加型社会で生活コストが安く、節約と助け合いの精神をもって、人口減少時代を明るく生き抜く鳥取県をつくる」といった『とっとり元気ビジョン』の提示があるとよい。 専門的な用語やカタカナが多くわかりにくい。注釈を入れるべき。 「地産地消」の視点が入っていないのが残念。 孫育てマイスターよりも、家庭内の父親の育児参加の割合を高める方が、子育て中の母親の負担軽減につながるのではないかと。 |
| 既に盛り込み済み | 39 | 県内は70%が森林であり、IUターンで女性の方にも森林に入ってほしい、第一次産業を女性の力で活性化してほしい。 農業でも特産物を生産してくれる若者や後継者を育成していくことも重要。漁業就業者も増加していくこと。間伐もしっかりしていくことが国土保全になる。 各保育所に看護師を配置し、病後児保育室を設けて預けられるようにしてほしい。 核家族では子育ては大変なので祖父母も手伝う体制を取る、地域での見守り活動をどうしてやっていくかが課題。 子供が本県に郷土愛を持って住んでもらえる教育が必要。 鉄道とのダイヤ調整でバスの便数を増やしてほしい。交通弱者のことも考えないと子育てはできない。 若者の移住促進や、県内出身者のUターン策(県内に戻ってきたら償還が一部免除される奨学金制度の創設)なども追記してほしい。 ワーク・ライフ・バランスの推進や男性が育児休業しやすい方策をより明記されれば良い。男性の育児休業取得実績の積み上げとともに、行政として男性の育児休業の促進を図っていくと良い。 |
| 今後の検討課題 | - | |
| 対応できない | 9 | 消滅可能性都市ゼロを目指すというテーマ設定に違和感を感じる。 チャーター便やクルーズ船頼みの誘客は止めるべき。 砂丘博物館を設置し、悪天候時の砂丘観光の目的地としてはどうか。 催し物の誘致や美術館、動植物園等の施設がないと魅力のある移住地にならない。 |
| その他 | 7 | マンションに住んでいる人が多くなったり空き家が多く、近所付き合いもなくなっている。 本県は車社会。通勤時間が全国3位でも自動車利用での時短では環境に負荷がかかる。 |
| 計 | 68 | |

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

| とりネット (実施担当課) | 報道機関への 資料提供 | 県議会への報告 | 県民室等での 縦覧等 | 広報誌等への 掲 載 | その他 |
|------------------|----------------|---------|---------------|---------------|-----|
| ○ | | ○ | ○ | | |